林兼産業株式会社

2012年3月期第2四半期 決算説明資料

2011年11月14日

東証1部（2286）

林兼産業株式会社

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

目次

林兼産業株式会社

Ⅰ 2012年3月期 第2四半期 決算概要 ・・・・・・・・・・・・・・・ 2

連結損益計算書の概要
経常利益の増減要因
セグメント別の売上高・営業利益
貸借対照表の概要
キャッシュ・フロー計算書の概要
四半期業績の推移
セグメントの状況　水産食品事業
　　畜産食品事業
　　飼料事業

Ⅱ 2012年3月期 通期計画 ・・・・・・・・・・・・・・・ 12

通期計画
セグメント別の売上高・営業利益計画
2012年3月期の基本方針
2012年3月期の下期施策
1. 利益率の改善
2. トップラインの拡大
3. 新製品開発
4. 品質の安定と向上

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

Ⅰ 2012年3月期 第2四半期 決算概要

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

連結損益計算書の概要

林兼産業株式会社

（百万円）

	2011年3月期 第2四半期累計	2012年3月期 第2四半期累計			
		実績	前年増減	当初計画	計画増減
売上高	25,839	24,684	▲1,155	26,000	▲1,315
営業利益	106	201	95	310	▲108
経常利益	89	205	116	280	▲74
四半期純利益	▲53	128	182	160	▲31

前期との変動要因

売上高	（－）連結子会社の減少や水産物の取扱量減等
営業・経常利益	（＋）魚粉価格の安定推移等による飼料事業の増益等
当期純利益	（＋）前期は、飼料事業の取引先に対する貸倒引当金繰入（36百万円）を計上

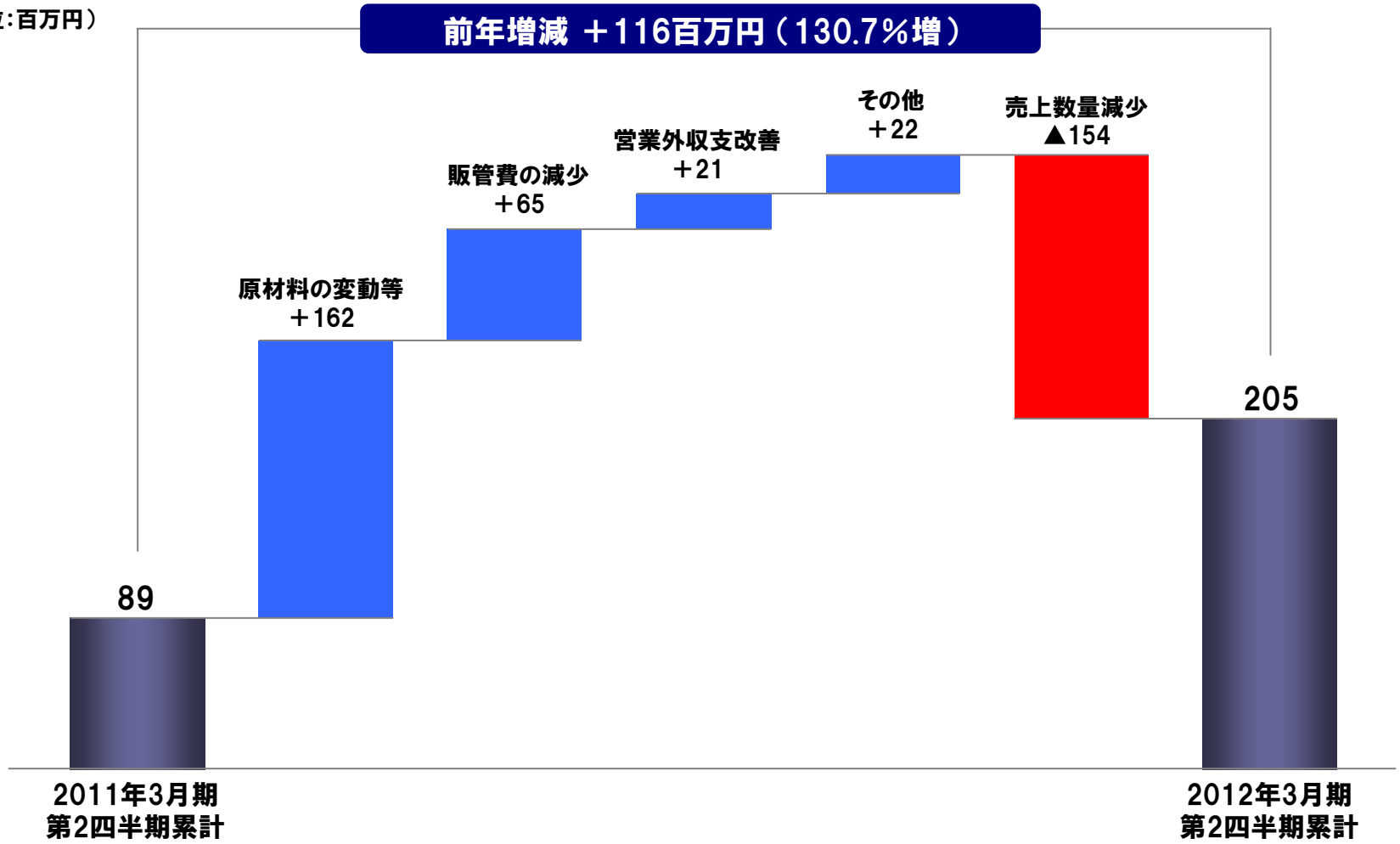
All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

経常利益の増減要因

林兼産業株式会社

減収となったものの、魚粉価格の安定推移等により増益

（単位：百万円）



All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

セグメント別の売上高・営業利益

林兼産業株式会社

（百万円）

	2011年3月期 第2四半期累計	2012年3月期 第2四半期累計			
		実績	前年増減	当初計画	当初計画増減
売上高	25,839	24,684	▲1,155	26,000	▲1,315
水産食品事業	3,721	2,653	▲1,068	2,800	▲146
畜産食品事業	9,061	9,132	71	9,000	132
飼料事業	11,872	11,841	▲31	13,200	▲1,358
その他の事業	1,184	1,057	▲126	1,000	57
営業利益	106	201	95	310	▲108
水産食品事業	173	97	▲76	180	▲82
畜産食品事業	192	69	▲122	190	▲120
飼料事業	285	530	245	530	0
その他の事業	84	95	11	40	55
消去又は全社	▲629	▲591	38	▲630	38

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

貸借対照表の概要

林兼産業株式会社

（百万円）

	2011年3月期末	2012年3月期 第2四半期末	前年増減
流動資産	12,587	14,027	1,440
固定資産	14,919	15,404	485
資産合計	27,506	29,432	1,925
流動負債	16,345	16,959	613
固定負債	6,277	7,373	1,096
負債合計	22,622	24,332	1,710
純資産合計	4,884	5,099	215
負債純資産合計	27,506	29,432	1,925

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

キャッシュ・フロー計算書の概要

林兼産業株式会社

（百万円）

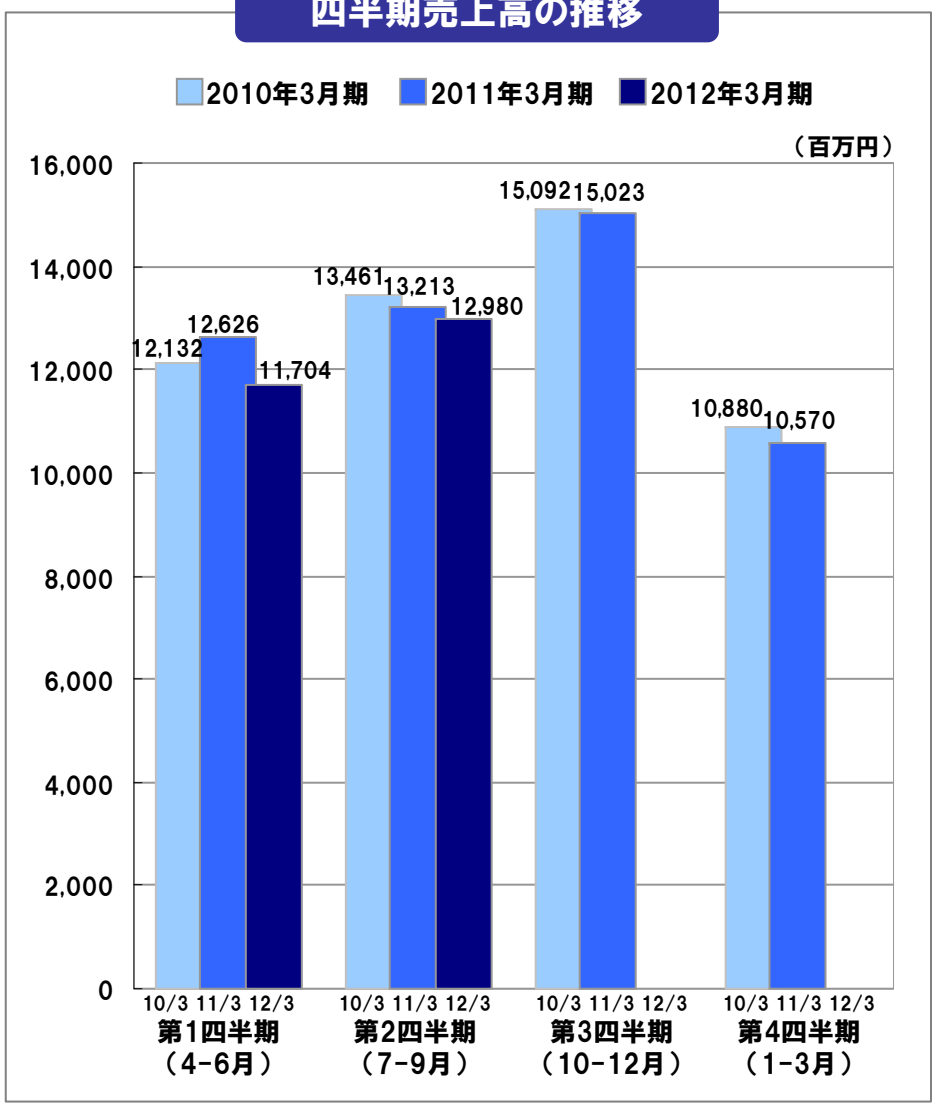
	2011年3月期 第2四半期	2012年3月期 第2四半期	前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲754	▲57	696
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲97	▲204	▲107
フリー・キャッシュ・フロー	▲851	▲262	589
財務活動によるキャッシュ・フロー	955	522	▲433
現金及び現金同等物の増減額	104	259	155
現金及び現金同等物の期首残高	1,911	1,845	▲65
現金及び現金同等物の期末残高	2,015	2,105	90

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

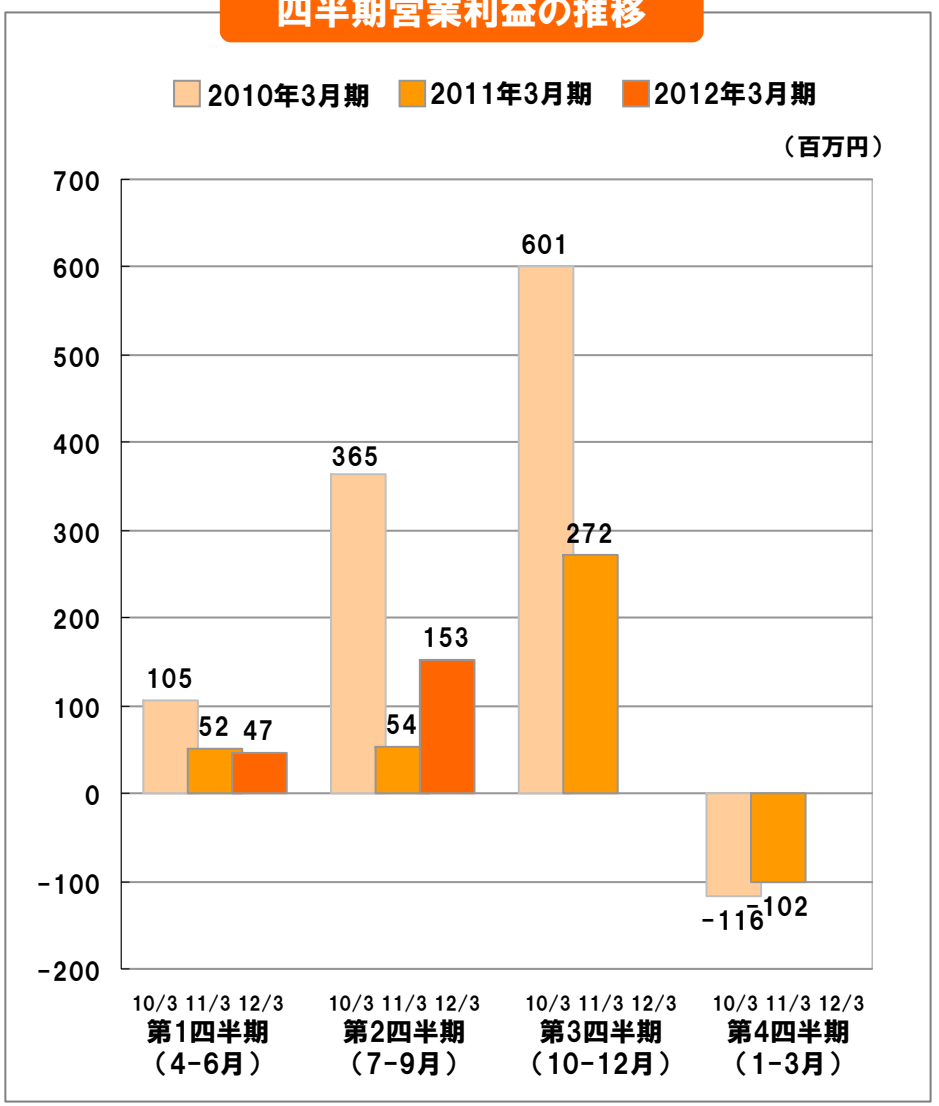
四半期業績の推移（売上高・営業利益）

林兼産業株式会社

四半期売上高の推移



四半期営業利益の推移



All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

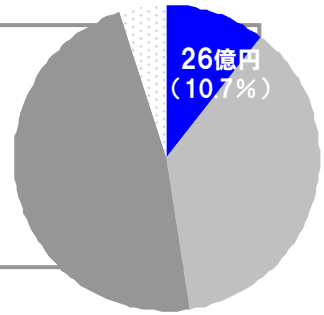
セグメントの状況（水産食品事業）

林兼産業株式会社

概況：連結子会社の減少や魚肉ねり製品の販売単価下落により減収、機能食品は順調

水産食品事業

売上高	**26億53百万円**	**（前期比28.7％減）**
営業利益	**97百万円**	**（前期比44.2％減）**



水産食品

・魚肉ねり製品の拡販
　主力のMソーセージを中心に販売数量が増加
　ウインナー類において、東日本地区での拡販が遅れたため収支悪化

機能食品

・展示会などを通じた拡販に努め、概ね順調に推移
　・血管機能の向上などが期待される「カツオエラスチン」 ・・・ 4月より順調に推移
　・高齢者向けソフト食「ソフミート」、「和菓子」 ・・・ 順調に拡販

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

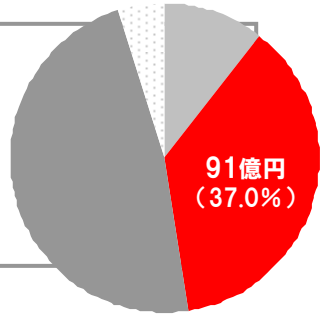
セグメントの状況（畜産食品事業）

林兼産業株式会社

概況： 販売は順調に推移したものの、原料価格の値上がりにより減益

畜産食品事業

売上高	**91億32百万円**	**（前期比0.8％増）**
営業利益	**69百万円**	**（前期比63.8％減）**



加工食品

・原材料の値上がりにより、採算が悪化
・主力取引先企業との新商品開発、海外からの代替生産を積極的に推進
・大口ユーザーとの新規取引を実現

食肉

・牛肉は他県で放射性セシウムが検出されたことにより、消費低迷
・自社ブランドの「霧島黒豚」を中心とした豚肉の拡販に努め増収

調理食品

・業務用具材などの拡販により伸長

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

セグメントの状況（飼料事業）

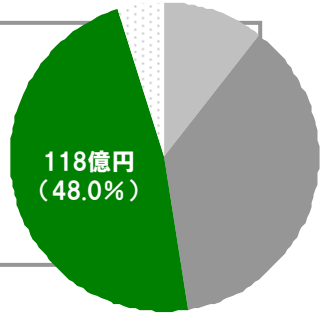
林兼産業株式会社

概況： 原材料の価格安定により利益率改善。ツナ・フードなどの取り組みも順調に拡大

飼料事業

売上高　118億41百万円（前期比0.3％減）

営業利益　5億30百万円（前期比86.2％増）

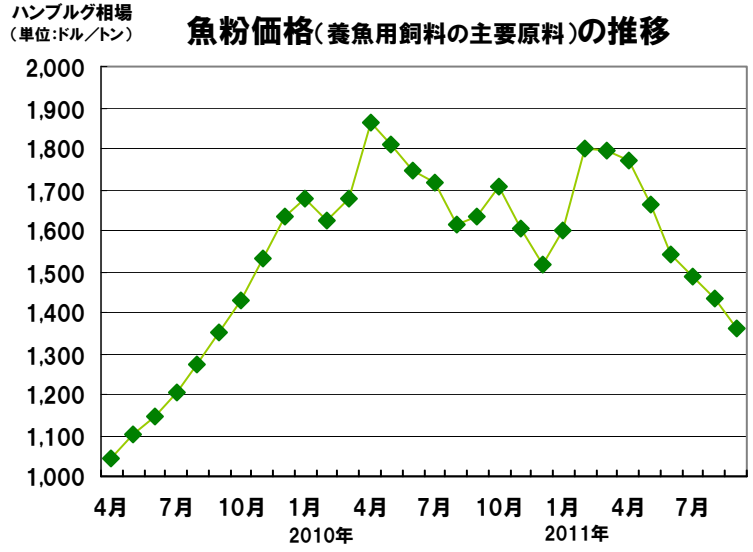


養魚用飼料

- 飼料の主原料である魚粉価格が安定的に推移し、収支は大きく改善
- ツナッコ（マグロ稚魚用配合飼料）を製造販売開始（2011年8月）
- ツナ・フード（マグロ成魚用配合飼料）は、順調に拡販

ツナ・フード生産量（国内）

2010年3月期（年間）		2011年3月期（年間）		2012年3月期（上期）
1,162㌧	→	2,024㌧	→	1,326㌧



水産物

- 魚価低迷により、活魚の取扱いを減少（採算性重視）

畜産用飼料

- 養豚用飼料を主に取り扱う新規特約店との取引を開始
- 採算性を重視した取り組みにより減収

畜産物

- 鶏肉の拡販と相場回復により増収

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

Ⅱ 2012年3月期 通期計画

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

林兼産業株式会社

2012年3月期 通期の見通し

個人消費の回復が遅れるなか、第2四半期累計期間の業績の状況と
本年10月に発生した生ハム製品回収の追加費用などを考慮し、当初計画を修正。

（百万円）

	2011年3月期実績	2012年3月期 通期計画			
		11/11 修正計画	前年増減	期初計画	期初計画増減
売上高	51,433	50,000	▲1,433	53,000	▲3,000
営業利益	276	400	123	670	▲270
経常利益	185	320	134	550	▲230
当期純利益	▲289	180	469	360	▲180

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

セグメント別の売上高・営業利益計画

林兼産業株式会社

（百万円）

	第2四半期累計 実績値	2012年3月期 通期計画			
		11/11 修正計画	前年増減	期初計画	期初計画増減
売上高	24,684	50,000	▲1,433	53,000	▲3,000
水産食品事業	2,653	5,500	▲776	5,600	▲100
畜産食品事業	9,132	18,900	▲318	19,200	▲300
飼料事業	11,841	23,400	▲390	26,000	▲2,600
その他の事業	1,057	2,200	52	2,200	－
営業利益	201	400	123	670	▲270
水産食品事業	97	310	▲49	420	▲110
畜産食品事業	69	350	▲46	550	▲200
飼料事業	530	810	224	810	－
その他の事業	95	90	▲65	80	10
消去又は全社	▲591	▲1,160	60	▲1,190	30

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

2012年3月期の基本方針

林兼産業株式会社

外部環境の変化に強い、強固な経営基盤を作るための事業改革を推進

2012年3月期 期初方針

① 利益率の改善

② トップライン拡大

③ 新製品開発

④ 品質の安定と向上

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

林兼産業株式会社

① 利益率の改善

施策の狙い

・安定成長に向けて収益構造の改革を推進

・低価格志向に対応しつつ、安定供給可能な体制を確立

具体的な施策

水産食品事業 畜産食品事業 飼料事業

水産食品事業 畜産食品事業 飼料事業

・取引量拡大と販路拡大を推進。稼動率向上により固定比率を低減

・経費節減の徹底。物流／資材コストの削減に取り組む

水産食品

・アイテム数を集約、工場の生産性向上を図る

水産物

・付加価値の取れる商品を開発

養魚用飼料

・低魚粉飼料の販売拡大
・EP製品の設備更新による経費節減
・顆粒製品の歩留まりの向上

畜産用飼料

・黒豚・赤鶏用飼料の季節に応じた配合設計の見直し

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

林兼産業株式会社

② トップライン拡大

施策の狙い

- 生産設備の稼働率向上による固定比率低減
- シェア拡大によるブランド価値の向上

具体的な施策

水産食品事業　畜産食品事業　飼料事業

水産食品

- 主要得意先企業への拡販
  - 魚肉ウインナー5束を東日本までエリア拡大
  - 復刻版商品を発売、商品価値を向上
  - 新商品の開発および販売強化
    （廉価版ハンバーグ、キャラクター商品）
- 海外向け製品について
  - 日系・地場量販店での拡売対策実施（香港）
  - イスラム圏向けにハラル事業を展開（→P.18）

養魚用飼料

- ハマチ用大手との連携強化による販売拡大
- 低魚粉飼料の普及による販売増

機能食品

- エラスチンの拡販
  - 素材業界への浸透
  - 美容分野以外への進出
- ソフミートの拡販
  - 新規問屋や給食業者への提案を実施

水産物　**食肉**

- 仕入先、販売先の新規開拓
- ブランドを生かした差別化販売
  - 赤鶏さつま ・・・ 大口取引が開始される見通し
  - 霧島黒豚 ・・・ 需要好調により高付加価値商品の拡販に努める

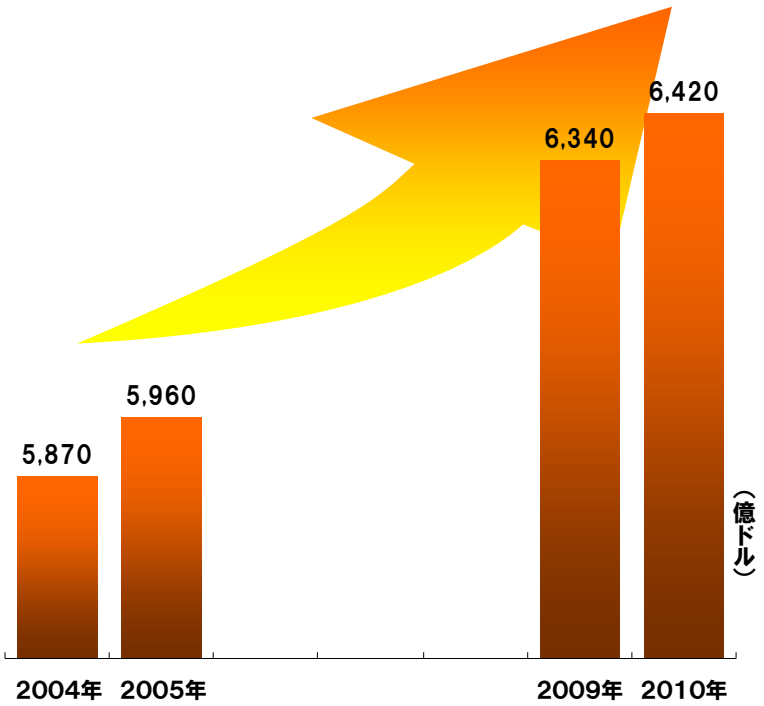
All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

林兼産業株式会社

② トップライン拡大

第3四半期より、イスラム圏向け展開を開始

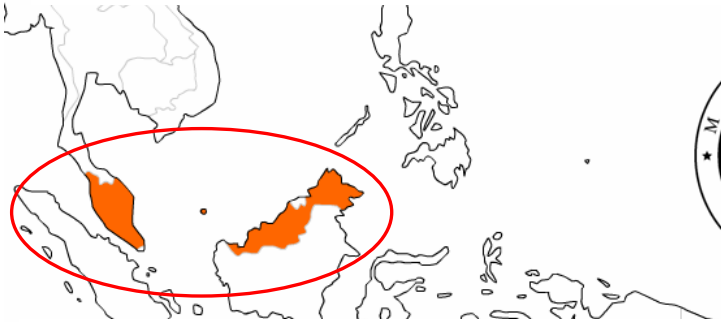
世界市場規模は、イスラム教徒16億人
推計**6,420億ドル（約50兆円）**



出所：Halal Industry Development Corporation

2010年12月
合弁会社OMAKANE SDN. BHD. 設立

2011年10月（2012年3月期第3四半期）
マレーシアでソーセージ（ハラル）の現地生産・販売を開始



マレーシアは唯一政府機関がハラル認証を行っています

ハラル食品（イスラム食品）とは、
イスラム法の下では、加工や調理に関して厳格な作法が要求されます。
イスラム法が遵守された食品がハラル（「許された」という意味）とされます。



All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

林兼産業株式会社

③ 新製品開発

施策の狙い

- 当社の技術力を生かした新商品展開
- 将来性豊かな市場に向け、積極的に研究開発を推進

具体的な施策

水産食品事業　畜産食品事業　資料事業

機能食品

- 新機能素材の研究開発
- ソフミート
  在宅商品等の新規アイテムを開発

畜産食品事業

- 霧島黒豚製品の開発
- 赤鶏製品の開発

養魚用飼料

- 前期発売のマダイ用低魚粉EP「オリオン」に続き、
  他魚種用でも低魚粉タイプ飼料に取り組む
- 稚魚用飼料「ツナッコ」を拡販（2011年8月製造開始）

稚魚から成魚までの配合飼料一貫給餌することにより、
マグロ完全養殖の事業化に大きく寄与



ヨコワ→「ツナッコ」　　マグロ→「ツナ・フード」

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

林兼産業株式会社

④ 品質の安定と向上

施策の狙い

- 生産効率の向上
- 安全・安心を追求した生産体制の構築

具体的な施策

水産食品事業　畜産食品事業　飼料事業

水産食品事業　畜産食品事業

・食品安全マネジメントシステム（ISO22000:2005）の推進、定着

2008年8月　宮崎県都城地区の工場・グループ各社において認証取得
↓
2010年8月　山口県下関・美称地区の3工場において認証取得
↓
2011年8月　林兼産業グループとして認証を更新


PERRY JOHNSON
REGISTRARS, INC.
登　録　証

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

林兼産業株式会社

新たな取り組みを加速し、

次の成長ステージへ



現在の収益源

＋

- ハラル食品
- マグロ養殖用飼料
- 高齢者機能性食品
- 新機能性素材

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

林兼産業株式会社

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

IRお問い合わせ先
林兼産業株式会社　管理本部総務部
TEL 083-266-0210
IRサイト　http://www.hayashikane.co.jp/ir/index.html

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.